広報あしや

昭和38年 12月5日 第169号

毎月1回5日発行、全世帯配布
昭和29年1月25日 第3種郵便物認可

発行所
兵庫県芦屋市精道町93
芦屋市役所
発行人 芦屋市長 内海清
編集 秘書課広報係
印刷所 オール出版印刷KK
（定価 2円）

固定資産税 第3期分
12月25日までに
市金庫（市役所・市中銀行）
または 市外取扱い銀行へ

本市の推計人口
（11月1日現在）

総数	61,217
男	30,212
女	31,005
世帯数	15,363

市民会館お目見え

20日から 完成した部屋 使用開始

中ホールは220人収容 公民館もすでに移転

市民のみなさんがお待ちかねでした、芦屋市立「市民会館」がおおむねできあがり、きたる十二月二十日から皆さんのご使用に供することになりました。場所はご存知の、市内でも一番交通の便利な国道業平橋の北側で、今後、集会・講習・練習……などをなさる市民のために絶好の場所を提供します。

この十二月二十日から利用していただく市民会館は、第一期工事の公民館的部分で、一部内部施設の遅れるへやも、来年夏までにはすっかり整う予定になっています。

それまでの総工費は約一億二千万円、うち五千万円は国民年金の特別融資によってまかなわれます。

建物は、坂倉準三建築研究所の設計になるせまい斜面敷地をたくみに利用した格調高いもので、地上二階、地下一階の鉄筋コンクリート造、延べ面積は千七百六十四平方㍍あります。

北側が玄関で、総ガラスの玄関ホールを通って階段を五段昇ると、正面は六十平方㍍の展示コーナーです。郷土資料や市政の展示物が陳列されるほか、写真や小さな美術品などの展示に適当な一画です。その左手には将来喫茶室が設けられます。

一階の中廊下をはさむ両側のへやを見ていきますと、西側＝右手＝に、放送室まである会館事務室、アコーデオンドアで実習室（第二集会室）と講義室（第三集会室）に仕切れる中会議室、染色教室（第一実習室）、料理教室（第二実習室）と続いています。

事務室には、開館十周年を迎えた公民館が仏教会館から移転を終えて職員がすでに執務しており、会館の使用申しこみもここで受けつけるわけです。料理教室、染色教室のご利用はいま少しお待ち願わなければなりません。

廊下の東側（左手）には便所に続いて、小会議室（第一集会室）、青少年室、資料室、団体事務室、郷土史料室と並んでいます。郷土史料室には貴重な出土品や古文書なども保管されるため、二方のガラスは金網入りを使っています。

なお、郷土を紹介する出土品などの資料や、美術品、手芸作品等を収めて展示できるよう、一二階の廊下両側には大小六十四個の陳列窓を設けています。

二階へ上がってみましょう。のぼった正面にやはり中央の廊下が南へ延びており、西側（右手）のドアを開くと、中ホールと呼ばれる高低二段の広いへやに入ります。アコーデオンドアで仕切ってしまうと、広い方は大会議室（第四集会室）になり、狭い方は音楽室（第五集会室）になります。アコーデオンドアをどん帳がわりに使うと高い方が舞台で低い方が観客席というふうに、発表会などに手頃なホールになるわけです。広さは両方で約二百平方㍍、最高二百三十ぐらいのいすが並べられます。

中ホールの南隣は和室が二室あり片方は十畳敷（第六集会室A）片方は炉も仕切ってある八畳敷（第六集会室B）で、ふすまを取りはずすと広間としても使え、流しも脇の間にしつらえられています。

東側＝左手＝には便所、倉庫、少し離れて、暗幕カーテンを備えた視聴覚室があり、映画の試写やスライドの観賞には適当です。

二階の廊下と反対側（北側）は一段高くなっており、そこは百八十平方㍍の広さをもつ市民ホールです。将来、テレビや応接セットなどを配し、休憩に、談話に、読書に、市民だれでも自由にきて使ってもらうところで、芦屋市民のロビーだと考えてください。

地階には、機械室、宿直室、自転車置場などがあります。

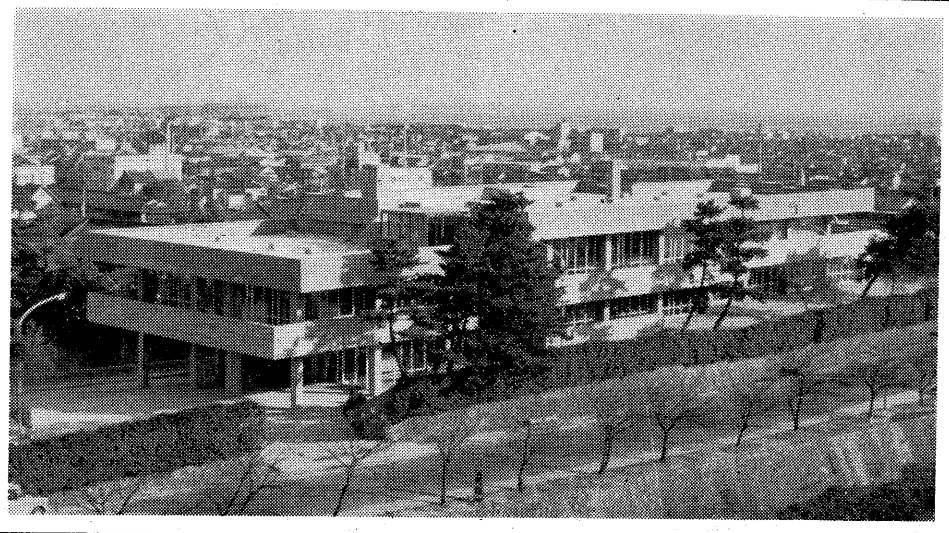
この市民会館の開館時間は、毎日午前九時から午後十時までで、毎月第二、第四火曜日が休館日となります。

へやの申しこみ予約は毎日午前九時から午後四時までに会館事務室へきて手続きしてください（電話では受けつけません）へやの使用料は上表のとおりですが、それ以外に冷暖房設備、ピアノなど特定備品、陳列窓などのの使用料は、別に加算してしていただきます。

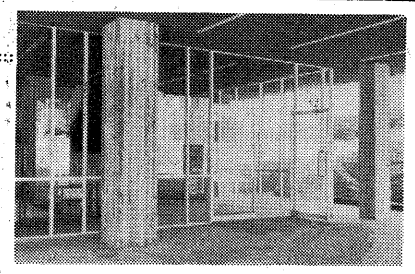
さらに将来は、総合的な市民センターとして、大ホールや結婚式場の建設を予定していますが、今のところ工事の時期はきまっていません。

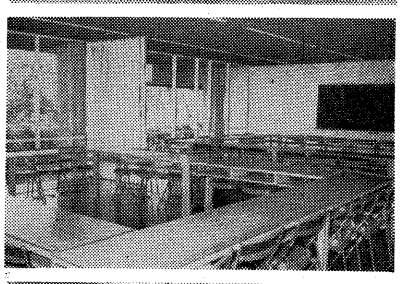
……

多人数の会議や、音楽・舞踊の発表会に好適の中ホール（手前がステージ）



しょうしゃな市民会館の全景





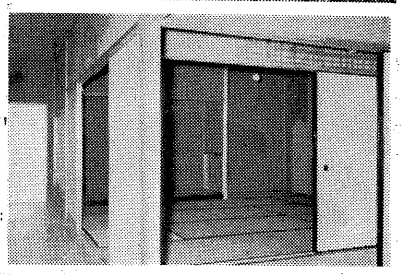


写真 ㊤みなさんのおこしを待っている正面玄関 ㊥仕切りで実習室と講義室にもなる中会議室（一階） ㊦優雅な落ちついた和室（二階）

市民会館の各室使用料

階	室名	広さ（m²）	収容力（人）	使用料（円） 9～12時	1～5時	6～10時
1	第1集会室	38	15	200	300	500
1	第2集会室	46	24	300	400	600
1	第3集会室	46	24	300	400	600
1	第1実習室	30	16	300	400	600
1	第2実習室	57	33	500	700	1,100
2	第4集会室	132	224	800	1,100	1,700
2	第5集会室	63	24	400	500	800
2	第6集会室A	10畳	20	300	400	600
2	第6集会室B	8畳	15	200	300	500
屋上				800	1,000	1,500
屋外				800	1,000	1,500

（注）全日など、通し使用料は各区分の合計額、市外の人が使用するときは倍額になります。

市営 第二種住宅

登録は12月27日までに

本年度の市営住宅のうち、第二種住宅は、いま西蔵町で建設工事をすすめています。入居を希望する人は、住宅困窮者登録をすませておかれないと抽せんに参加できません。

第二種住宅は、収入が月額二万円以下の人に限り申しこみができます。登録期間は十二月二十七日までですから、昨年、登録をすませた方は三十七年度の源泉徴収票を、未登録の人は登録用紙に必要なことがらを書いて、市建築課住宅係へお出しください。用紙は住宅係にあります。なお、この第二種住宅の抽せん受けつけは三十九年二月十六―十七日、抽せん日は二月二十三日の予定です。

年末年始の休庁

ご用はなるべくお早めに

市役所、教委事務局、公民館、図書館は12月28日（土）のご用納めから1月4日（土）のご用始めまで休みます。ただし、税務課は31日（火）の午前中まで、市民課と保険年金課は30日（月）と31日（火）の午前中だけ、清掃課は清掃作業のみ31日の午前中まで行ないます。水道部は31日まで執務しています。芦屋病院は29日から3日まで休診しますが、31日午前中は診察および投薬を受けつけ、そのほかは休院します。急患はこの限りではありません。

市役所へのご用事は、できるだけ12月28日（土）午前中までにすませてください。

市民会館条例など可決

第八回臨時市議会

第八回臨時市議会は十一月十八日に開かれ、議案八件、請願三件、陳情五件を審議しました。

◇ ◇

建設常任委員長報告（了承）第81号議案「昭和三十七年度芦屋市水道事業会計決算の認定について」は、原案どおり認定。

市民会館建設特別委員長報告（了承）

市民会館の建設についての中間報告を了承。第97号議案「芦屋市民会館条例の制定について」は修正可決。

第101号議案「予算外義務負担の工事請負契約の締結についての議決事項の変更について」第102号議案「予算外義務負担の工事請負契約の締結についての議決事項の変更について」第103号議案「予算外義務負担の工事請負契約の締結についての議決事項の変更について」（いずれも可決）市民会館建設について、主体工事・電気設備工事・給排水衛生消火冷暖房設備工事の契約金額などの変更。

第104号議案「出資することについて」（可決）芦有開発株式会社の倍額増資に伴う本市への割当て七万株のうち、財政事情などから一万株（五百万円）を引き受けるもの。

第105号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市特別会計地方競馬費歳入歳出追加予算（第1号）」（可決）五百万円の追加。

第106号議案「昭和三十八年度兵庫県芦屋市歳入歳出追加予算（第4号）」（可決）芦有開発株式会社への出資、衆議院議員選挙など六百三十五万円の追加。

請願第3号「打出浜地区集会所の建設に関して」（民生委付託）請願第4号「水道料金の値上げ反対に関して」請願第5号「水道料金値上げ反対に関して」「水道料金値上げ反対に関する陳情」「下水道使用料の値下げに関する陳情」いずれも建設委付託）

「山手中学校の施設充実に関する陳情」「岩園小学校の施設充実に関する陳情」「精道小学校の施設充実に関する陳情」（いずれも文教委付託）

国保第五期分保険料は 12月が納期です

国民健康保険の第五期分保険料は十二月二十五日までに、市金庫または神戸銀行、三和銀行にお払いこみください。二十五日と二十六日は、春日町の打出ボックスでも取り扱います。

なお、新しい保険証の交換をまだされていない方は、三十一日の正午までに市保険年金課へおこしください。

詳細は会館事務室（電話二局五二三六・四九九五）へお問い合わせください。

芦屋3局を新設 市機関の電話番号も一部変わります

芦屋の市内局番は2局だけでしたが、新しく3局の局番が12月2日から使用されています。これに伴い

12月9日午前8時から 芦屋病院は……③ 2156～9
10日から くみとりの係……③ 2350
ごみ焼きの係は……③ 2351

に番号が変わります。あなたの名刺などにも、必ず「芦屋何局」と局番をおいれください。

ご出勤前に…

たばこの消費税は、ただ市内でたばこを買っていただくだけでその一部が芦屋市に納められ、市のために役立ちます。

たばこはぜひ芦屋でお買いください

団長日記から ④

日仏青少年交歓派遣団

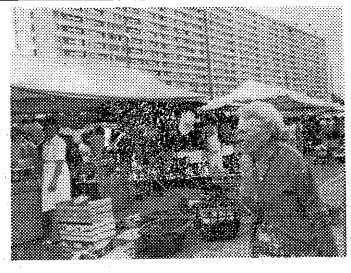
しっかりした若者に感心

印象的だったアルルの風俗と闘牛

芦屋市長　内海　清

夏休みとなり、一般の人たちも夏の休暇をとって南仏へ休養にきます。あたりはヤシの並木や日本と同じ松の木が多く、セミも同じ声でないていました。夾竹桃の花も満開でした。

＜七月三日＞午後カンヌをたって二、三時間でツーロン着。途中は美しい別荘やバカンスを楽しむ人たちのテントが続いています。七月のはじめから九月十五日まで学校が



マルセイユの朝の市、後はコルビジエ設計のアパート

＜七月四日＞ツーロン軍港をランチで一巡、ていぱく中の空母にも乗せてもらいました。海員会館で昼食をする前に、放送局の人がきて「テレビで放送するから」…とわれわれの声を録音していきました。マルセイユ着午後三時、人口九十万、フランス第二の大都会で、古くから東洋との貿易で栄えた港町です。

＜七月五日＞マルセイユの町では朝あちこちで市がたちます。テントがけの露天市で、水々しい野菜果物、花、それに衣服などの商品が町に色どりをそえ、往来する市民や売り買いの声が町に活気を加えます。

最新設備の整った医科大学を見てから、世界的な設計家コルビジエが設計したアパートをのぞきました。十年ほど前〝空間を縦に広げ、残った敷地は全部庭に〟と建築されたのだそうです。三百二十一室、屋上にはプールもあります。建った当時「すばらしい設計だ」「町の調和が台なしだ」と賛否両論がうずをまいたそうです。

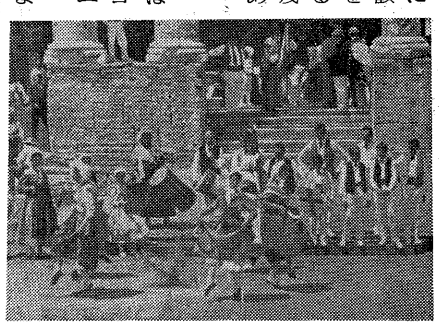
昼は、外観こそ見ばえがしませんが中は立派なマルセイユ市庁でのレセプション、晩は観光協会会長と商工会議所会頭の招待をうけました。この席で芦屋の姉妹都市に適当なところがあれば聞いておきたいと申しますと、グルノーブルか、エクサンプロバンスがいいのじゃないかと薦めてくれました。

サロンで若い空軍士官と握手

＜七月六日＞ゆうべ話題に出たエクサンプロバンスに行き、体育学校や、三階建のこじんまりした国立の美術館を見せてもらいました。七万人ぐらいの小都会ですが、よく整った感じです。どの町へ行っても大なり小なり美術館があるのは、さすが芸術の国です。途中の城を見てマルセイユに帰りました。ビゼーの歌劇〝アルルの女〟で有名なスペインに近いこの町には古代遺跡があちらこちらにあります。折から〝衣裳まつり〟とかで廃墟の会場に町の人たちが先祖伝来の民族衣裳をめいめいに着こんで集ってきます。その色彩の美しさは今回の旅行の中でも圧巻でした。人々はスペイン風のスカートをひるがえし、交替に舞台で民族舞踊を踊りまくっていました。市内には、一世紀当時ローマ人が葬られた古代墓地もありました。八世紀に建ったカルドのノートルダム寺院を見に行きました。市街を一望できる丘の上に大がらんがそびえています。年に百万もの観光客が訪れるそうです。南仏は何かノンビリした感じですが、物価は決して安くなく、とくに飲料水は一瓶が五十サンチームもする貴重品です。

＜七月七日＞朝マルセイユを去りサロンの航空学校を見学後、アルルに入りました。

そのアルルをあとに、〝ローヌ川畔をさかのぼって、夕方〝アビニヨンの橋〟のあるアビニヨン市に入りました。



廃墟で民族舞踊を演ずるアルルの人たち

＜七月八日＞朝からまた、生まれてはじめて闘牛なるものを見ました。南国の太陽の下で、色あざやかな闘牛士のたくみな手さばきにつれ、つぎつぎいかり狂う牛がたおされて行きます。観衆も次第に熱狂し、われわれもこぶしをいつかにぎりしめていました。しかし、最後に剣でしとめた牛の死骸を馬にひかせて場内を一周する場面ともなると、日本人としては残酷すぎ、後味がよくありません。

ローヌ川畔をさかのぼって、夕方〝アビニヨンの橋〟のあるアビニヨン市に入りました。

＜七月八日＞朝からまた北上、以前内務大臣をしていた市長に迎えられてモンテリマールに昼前到着し、歓迎会がすむと次はバランスへ。ここでも町の結婚式場に市長が迎えてくれ精薄学院で昼食会が行なわれました。

ツーノンに入るとローヌ河畔の岩に築かれた古城が博物館になっており、館長が二千年にわたる土地の歴史を説明してくれました。こんな古城に身を置くと、おとぎ話の世界に入りこんだようです。

八時、鉱工業都市のサンテチエンヌ着。これでバス旅行は終わりました。

その晩、土地のいろんな青年と懇談する会がありましたので、彼らの意見や希望を聞いてみました。

ある十八歳の学生は「学校は学科がつまっていて楽ではないが、がんばって早く独立して自由を得たい」ある労働者は「給料や労働条件をよくしてほしい。責任ある仕事をもちたい。余暇が得られたらもっと勉強したい」とそれぞれ現在の夢を語ってくれました。若い女性は「物心両面整わない限り結婚にふみきりません」といい、親に対しては「世代の差で考え方にずれがあるが、そのずれの中に学ぶべきものがあると思っている」とのことで、それぞれにしっかりしているなと感心しました。

その晩遅くパリ行の夜行列車に乗りこみました。

＜七月十日＞七時パリのリヨン駅に到着、ホテルに荷を預けるや否や郊外にできつつある新住宅街の見学です。伝統を重んじるパリにも郊外にはどんどん新様式の住宅街が造成されつつあります。わたくしたちの訪れたサルセルのそれは、その中でも一番大きい規模のもので、現在でも六千五百世帯の大きな団地ができており、これからも一年に千世帯ずつふえ、完成すると二万二千五百世帯、四万人という新都市が出現します。

豊かでない人にも住みやすい住宅を提供しようということで一九五六年から造成されはじめ、広い団地の中には、学校が六つ、市場が五カ所、そのほかに教会や託児所、体育館、郵便局、市役所の出張所などがあり、養老院まで建設中とのことでした。日本のアパート団地より、建物も大きく、庭も広く取ってあり、パリへ十四分という距離なのにこれがフランスかと思うほど明るい感じです。

団地の一画にある青少年の宿泊施設も見ましたが、三百二十四室もある大きなもので、七月月間は地方から出てきた青年のために、五月月間はフランスを訪れた外国青少年のために開放されています。

パリに戻り、国立スポーツ学院を見学、午後はフランスみやげを各自買いに出ました。晩の〝おわかれパーティー〟の席上、指導者のひとりがわたくしにフランスの青少年犯罪の実情を話してくれました。それによると、非行を犯す若者が年に三万人ぐらいあるとのことで、多いのはやはり窃盗・暴力行為・性犯罪だそうです。これの対策としては〝科学的、心理的、社会的に検討し、住宅事情を改善する、家族の仲をよくする、学校でもつめこみ主義を廃し個性を伸ばす教育に重きを置く、余暇を善用させる〟等の手段を講じているといっていました。更生施設においても罪を罰するより教育を重視しています。

＜七月十一日＞午前十時三十分、たくさんの印象で頭がいっぱいの一行を乗せた飛行機は、オルリー空港を飛び立ち、フランスをあとにしました。……おわり……

（残念ですが、紙面のつごうで総まとめの感想や、そのあと回わった欧州各都の印象などは機会を改めさせていただきます）

モンテベロ市から　カ委員長、来市

学生交換「実現につとめたい」

本市の姉妹都市モンテベロ市から一昨年の都市提携式にも代表として出席された同市の姉妹都市委員長である、E・カーチナー夫人が先頃私用で来日され、十一月二十二日と二十四日芦屋にも立ちよられました。二十四日には、おりからの姉妹都市協会バザーに出席されたのち、内海市長や姉妹都市協会の八馬会長ら幹部と会談（下写真）し、当面の提携事業について意見を交換しました。

同夫人は「自分が多忙なためにモ市側の提携活動を芦屋市民の期待するほどもりあげられなくて残念だが、モ市姉妹都市委員会は、事に応じていつでも動き出せる体制にある。夏休みの高校生交換派遣については、資金の工作に奔走中で、なるべく早く実現に運ぼうと思っている」と話していました。

高校生派遣資金をと

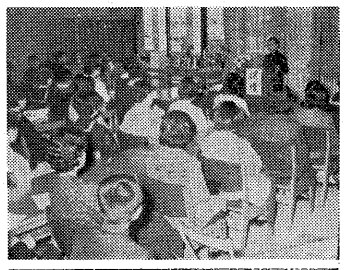
姉妹都市協会バザー

英語弁論大会も盛会

芦屋姉妹都市協会では、同協会の懸案であるモンテベロ市へ夏休みに高校生を派遣する資金を募ろうと、十一月二十四日精道小学校講堂で盛大なバザーを催おしました。モ市のカーチナー夫人も会場に姿を見せ、芦屋市側の提携への熱意に感嘆していました。

また、その前日同協会は、市内の中・高・大学生二十七人の参加を得て英語弁論暗唱大会（下写真）を挙行しました。表彰を受けた人は次のとおりです。

▽大学生の部　一位…藤井千佳子　二位…藤田和子　▽高校生の部　一位…広江やす世、二位…西川翠　▽中学生の部　一位…小松一郎、二位…白崎朝子、三位…前田紀子



水道事業の上半期　赤字が増勢

阪神水道の値上げがひびく

昭和38年度上半期（4―9月）の水道企業会計は、第7回定例市議会に、水道料金の改正案を提案するに至りましたように、昨年度の赤字発生以来、その累積と建設工事資金の流出によって、水道の経営状態はむずかしくなってきています。とくに、阪神水道組合の受水分賦金（買い水の料金）が4月1日から大幅に値上げされ、給水収益の順調な伸びにもかかわらず 7,536,239円の赤字が出てしまいました。

赤字の発生と拡張工事の工事金や起債償還金の支払いにより、手持現金は大幅に減少しました。

この傾向は、これからも引き続くと予想されますし、冷夏による給水収益の頭打ちもありますので、今後の企業運営にいっそうの努力を続けていきます。

昭和38年度上半期損益計算書

（昭和38年4月1日～9月30日、単位円）

Ⅰ営業収益	38,639,207	Ⅲ営業外収益	413,363
Ⅱ営業費用	42,921,948	当期総損失	△3,869,378
営業損失	△ 4,282,741	Ⅲ営業外費用	3,666,861
		当期純損失	△7,536,239

昭和38年度上半期貸借対照表

（昭和38年9月30日現在、単位円）

資産の部		負債および資本の部	
有形固定資産	397,409,283	固定負債	13,793,046
投資	849,635	未払金	2,046,070
現金及び預金	27,601,557	預り金	6,468,804
未収金	1,061,310	自己資本金	290,854,959
有価証券	288,900	企費債	99,941,157
貯蔵品	10,460,347	資本剰余金	21,934,367
前払費用	13,005	利益剰余金	2,645,634
合計	437,684,037	合計	437,684,037

国際生活体験学生

民宿後、東京へ

きさに本紙上で受入家庭を募集したことのある〝国際生活体験学生〟の米国ルイス・アンド・クラーク大学生一行二十三名は、十月二十九日阪神入りし、その中のリーダーのキビマエ氏と三人の女子学生は岩園町広野悦二宅など四軒の芦屋市民に一カ月間分宿、日本家庭の生活を満喫しました。一行は十一月二十八日から現在関東旅行中で、そのあと京都で二カ月半ほど授業をうけ、二月二十八日離日することになっています。

奥様ご用心ください

被害をうけたら、すぐ110番へ

新聞やラジオは、毎日どこかの町で、社会の悪であり、わたくしたちの平和な生活をおびやかす暴力事件が発生していることを報じています。幸い、芦屋市内では大きな事件は起こっていませんが、押し売り、たかり、ゆすりなど、小さな暴力には被害を受けられた方もかなりあると思われます。

最近、阪神間のA市でひとりの男が、十数種類の名前を使って「お宅のご主人と同じ会社に勤めている者だ」とか「友人だ」とかいって、留守居の奥さんから、ことば巧みに金品をだましとる事件があり、警察に届け出のあったものだけでも十五件に及んでいます。

毎年、年末年始には、こうした犯罪や窃盗、暴力的事件がふえてきます。各ご家庭では、こうしたことにじゅうぶん注意され、被害を受けたとき、あるいは見たり聞いたりしたときは、すぐ警察へお知らせください。まだ一部には、後難を恐れて泣き寝いりしたり、こんな程度のものは面倒だからと、そのままますまされる方もあるようです。これでは、犯罪はなくなりません。警察はみなさんからの被害届けによって、大きな事件になるのを防ぎ、二度と犯罪がくり返されないように手をうっています。もちろん、届け出た人に面倒をかけないよう配慮しています。

海外移住研　兵庫県海外協会で修生を募集は、中堅青年移住者を育成するための三十九年度研修生を募集しています。応募資格は、短大卒業以上もしくは高校卒業者で、海外協会長の推薦する十八歳から二十五歳までの男子です。修業期間（一年）中の経費は約五千円を本人が負担し、そのほか公費でまかないます。三十九年一月六日まで同協会（県外務課内）で申しこみを受けつけていますから、詳細を知りたい方は、市商工産業課へお問いあわせください。

芦屋病院レントゲン棟焼失

十二月二日午後六時半市立芦屋病院のレントゲン棟（新館とは別棟木造）から出火、同棟と西側渡り廊下の一部約百五十平方㍍が焼失しました。入院患者や新館その他の建物は無事で、診療は平常どおり続けます。病院では、レントゲンの代替設備を早急に取り寄せるよう手配しました。原因、損害は調査中ですが、再度の火災で市民の方々にご心配をかけましたことを、深くおわび申しあげます。

先月の市内　交通事故

11月1日～30日

事故	50件
死者	0人
負傷者	20人

1月から の累計

事故	595件
死者	8人
負傷	222人

門灯は終夜点灯しましょう

明るい次代

青少年の団体と、よい子を育てるグループご紹介 ⑫

四年前三十人、いま三百人
町、町に根をおろす日は
……芦屋市青少年幹部隊……

「青少年の育成問題は各国共通の問題で、この意味から青少年の国際交歓を行なってお互いが視野を広めたり、育成対策の研究をおし進めることは、大いに意義が深いといわねばなりません。わたくしは、この機会に、青少年のための施設や育成問題を知ることにも努めました…」青少年育成指導者のひとりとして西ドイツから招請を受け、昭和三十三年、およそ四十日間にわたってドイツを中心にヨーロッパ各国を視察した内海市長は、その帰国談の中でこうのべている。市長の青少年問題についての関心は、この渡欧によって一段と強まり、三十四年四月、市長部局に青少年係（現在、市教委青少年課）を設置したのをきっかけとして、種々の方策がうち出され、実行されていった。同年七月、青少年育成対策の一環として組織された芦屋市青少年団体連絡会は市内の青少年団体の指導育成と向上発展を期し、相互の連絡や研究をするという目的にそって、まず幹部隊の結成を手がけた。それがみのって、翌月の十九日に三十余人の隊員でスタートしたのが「芦屋市青少年幹部隊」（当時の名称は青少年幹部会）なのである。幹部隊が、第一回の行事として実施した飯ごう炊さんパーティの感想を「何をするにしても団体行動の必要さを痛感しました。みんなにこんな経験をさせてあげたいと思います」「ぼくには初めての体験でしたが、めいめいの責任で協力していくことが、どんなたいせつなことであるかを知りました」と、隊員たちは当時を思いおこしながら語る。

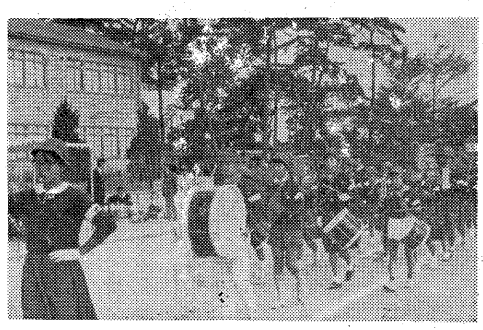
隊員は、幹部隊の名が示すように、学校、子供会、青少年のスポーツや文化グループなどから選ばれた青少年の代表だったが、ことしから、希望する青少年はだれでも入隊できるようになり、その数は結成のころにくらべて十倍近くにまで大きくなった。さらに昨年七月には、隊員の中から募集した三十名ほどの編成で鼓笛隊も誕生し、めざましい活躍ぶりをみせている。

ことしで満四歳の幹部隊は、目標とする青少年の指導者づくりや、スポーツ、レクリエーション、野外、文化、奉仕、交歓、研修会などの活動がますます活発になり、具体的なプログラムの中には、かるた会、お月見会といったような季節的なプランが織り込まれている点に特長が見られる。組織面も整備された。幹部隊には小学校区ごとの四つの地区隊があり、各地区隊はいくつかの班に分かれている。地区隊活動を始めてから三年目になるが、野外活動、奉仕活動を中心に、誕生会、芦屋を去る隊員のお別れ会のような地区隊ならではの特色ある活動をしている。各地区隊のリーダー、ジュニアリーダーたちは、集団活動について「どんなグループ活動にしろ、その中で自分の我というものを内側におさえられるようになりました。それがぼくの得た何より大きなもの」だという。協調性、忍耐、寛容、体力一豊かな人間形成を目ざして続けられる訓練活動は、隊員に指導者としての自覚を深めさせ、必要な技術を与え、やがて、そのひとりひとりを他の青少年たちのためのグループリーダーに育てるのだ。リーダーはさらに「わたくしが隊にひかれたのは、責任の一翼をになう立場におかれるというところです」ともいう。幹部隊の使命は、隊員のみんながこのような立場から、よい子供のよい仲間となり、健全な地域社会に密着したグループになることである。

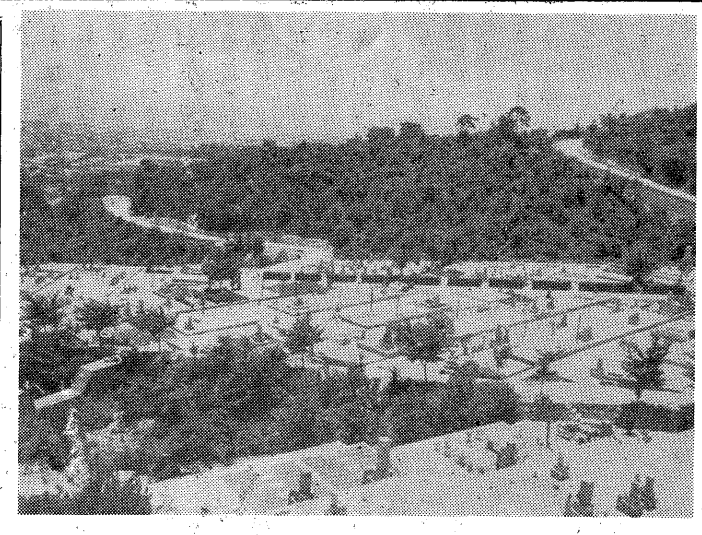
地区隊活動、班別のグループ活動の活発化は、いうまでもなく地域青少年団への方向を目ざしていることを示している。近い将来、地域の方々のご助力も得て、青少年幹部隊が地域社会に根ざした少年団となり、子供会の育成とあわせて健全な青少年グループが町のすみずみにまで育っていくだろう。

〝わたくしたちは平和を愛好し、国際的教養を身につけるため、たゆまずはげみ、常によく考え、正しい判断のもとに行動します〟の綱領のもと、つどう三百人の隊員の口から、力強く〝ちかい〟のことばがひびく。躍動する若い苗、あの町にもこの町にも、新しい次代を背負う青少年がはぐくまれていく。（おわり）

市内には、数多くの各種青少年グループがあります。一月から連載してきましたこの〝明るい次代〟では、その一部しかご紹介できませんでしたが、本号をもって終了します。



初の運動会に勢ぞろいした隊員



四季、花がたえない市霊園の中央部

全市民の信仰の名所
市霊園10周年式

いまでは知らない市民がないくらい有名になった本市の名所「芦屋市霊園」できる十一月二十九日、その創設十周年の記念式（下写真）が盛大に挙行されました。

岩だらけの国有林に過ぎなかった殿谷の一画で地鎮祭が行なわれたのが昭和二十八年三月二十二日、その日からはや十年の歳月が流れたわけです。

もともとこの霊園は、内海市長が芦屋に住み続ける市民の少いのを憂いて、市民の信仰の中心を作ろうと、就任直後、川舟喜太郎先生の指導を得て計画したもので、営林局や奇篤な市民の協力のもとに今日なお造成が続いているわけです。造成の終わった面積は約十三万平方㍍、墓地の数は市内から移転したもの含めて三千に近く、新装の事務所の近辺には、慰霊塔、光明地蔵尊、慈光観音、無縁塔なども祭られています。秋の名所であるばかりでなく、四季花の絶えぬ美しさと展望のすばらしさはご存知のとおりです。

ふるえている人へ
歳末愛の持ち寄り運動

年の暮のつめたい風に、手袋もなく小さな手をまっかにしている子供に、そして恵まれない人々のために、本年もまた暖かい愛の手をさしのべてあげてください。芦屋市社会福祉協議会では、市の福祉事務所や各種団体、奉仕者の方々のご協力により「歳末援護愛の持ち寄り運動」を行ないます。あなたの暖かい手で、お気のどくな環境の方々が明るいお正月を迎えることができますよう、ご協力をお願いします。

寄贈ねがいたいもの…現金、衣料、食糧、日用品、学用品など（なるべく現金が便利です）

寄託先…もよりの民生委員宅、市役所内社会福祉協議会

期間…十二月六日から十五日まで（土曜午後、日曜はのぞきます）

ご寄贈いただいた金品は、市の福祉事務所や、民生委員さんの奉仕によって、年内二十日ごろまでに市内の恵まれない境遇の方々や福祉施設などにお贈りします。

敬老金
20日ごろお届けします

毎年九月十五日現在で、つぎに該当される方に敬老金をお贈りしていますが、もう申請はおすみになりましたか。十二月中旬頃にお手もとにお届けしますから、申請もれの方、その他のお問い合せは市厚生課福祉係へご連絡ください。

1、引き続き市内に五年以上住む満八十一八十四歳までの人には三千円

2、引き続き市内に一年以上住む満八十五歳以上の人には五千円

3、引き続き市内に一年以上住む満七十五歳以上の人で、身体障害者手帳の交付を受けている人には五千円。

守ろう各自の人権
人権週間 ことしも相談所開設

十二月十日は人権デー、つまり世界人権宣言が第三回国連総会で採択されたことを記念する日ですが、ことしは、ちょうどその十五年目にあたります。わが国においても例年十二月四日から十日までを人権週間として、全国的に各種の行事が催されます。

芦屋市では、神戸地方法務局と神戸人権擁護委員協議会の芦屋地区人権擁護委員が中心となり、いっしょにお配りした黄色いビラのとおり、無料人権相談所を開くほか十二月九日午後、人権擁護委員や法務局職員が広報車で市内を巡回、人権尊重を呼びかけ、また十二月十二日午後二時から市役所三階会議室で「人権に関する諸問題について」をテーマとした座談会を開催します。

人権とは、人間である以上、いかなる場合でも社会生活の上で認めなければならない基本的な権利や自由を意味します。そして、だれも侵すことのできない永久の権利として憲法でも保障されていますが、生存競争のはげしい現在の社会生活の中で、知らぬ間に他人の人権を侵したり、反対に他人から自分の人権が侵されることがあるかもしれません。また、悪意によって侵される人権も数多く見うけられます。もし、人権を侵されたと思われるときは、もよりの人権擁護委員か、神戸地方法務局人権擁護課へ申し出ると、いつでも相談に応じてくれます。本市の人権擁護委員は、つぎの五氏です。

伊勢町五 小島栄、三条町一三五 五味五兵衛、宮川町一九 林三夫、茶屋之町六三の二 増田稲三郎、伊勢町二 吉田利吉

乳幼児とご老人に
流感の予防接種

生後三カ月から一歳未満の乳児、一歳以上から来春小学校入学予定の乳幼児、満六十歳以上のご老人を対象に、インフルエンザの予防接種をします。十二月二十三日、午後二時から四時まで精道小学校と宮川小学校の両講堂で行ないますが、当日限りですからもれなく受けてください。料金は、乳児四十円、一歳以上の乳幼児八十円、老人百六十円です。

日曜の当番医師

12月8日 黒住医院（外科）大桝町②三五七二▽15日 宮本医院（小児科）松ノ内町②三一七四▽22日 大林医院（小児科）大原町②三二二一▽29日 菅野医院（内科）公光町②五七九〇▽39年1月1日 武藤医院（小児科）月若町②三八二六▽2日 福田医院（内科）大原町②四六七二▽3日 渡辺病院（産婦人科）船戸町②五〇二七▽5日 宮代医院（内科）精道町②一四五〇

当番医の専門科目外の患者のときは、適当な専門医に連絡してもらえます。急を要しないと思われる患者は、一応かかりつけの医師にみてもらってください。

（芦屋市医師会）

迷惑考え
犬の用便は必ず自宅で

中小企業に年末融資

年末に必要な運転資金に、中小企業融資をご利用ください。

兵庫県中小企業年末特別融資 個人百万円以内、法人三百万円以内で、利率は銀行が日歩二銭三厘信用金庫が日歩二銭五厘、融資期間は原則として四カ月です。十二月十六日までに市内の神戸、三和各銀行、関西信用金庫へお申しこみください。金融機関を指定しない方は、直接市役所へ。

芦屋市中小企業融資 運転資金二十一三十万円、設備資金三十万円で、利率は日歩二銭六厘一二銭八厘、返済期間は運転資金が六カ月から十カ月、設備資金が一年となっています。これは、年中取り扱っていますから、市商工産業課へ申しこんでください。

年賀状は22日までに
小包の荷づくりはしっかりと

年賀状のあて先、差出人の住所、氏名は完全に書いてください。今後の郵便が正確に届くことになります。同時に、表札をかかげ、郵便受けをそなえていただき、配達できない迷い子の郵便物をなくしたいものです。小包みは荷づくりを完全に。受発人の住所、氏名もです。また、住所を変更されたときは郵便局にもお知らせください。

郵便局では、急激にふえてくる郵便物を、早く、安全に、正確にお届けできるよう努力しています。そのため、年末贈答小包みは十二月十五日までに、年賀状は二十二日までにお出し願いたいのです。

ボーナスは郵便貯金に は、十一月一日から来年の一月末日まで「年末年始郵便貯金増強運動」を展開しています。郵便貯金の現在高は一兆六千億円をこえ、国の財政投融資の最も大きな資金源となっています。芦屋市でも郵便貯金からの融資をうけ、学校、道路、住宅、その他災害復旧など、私たちの住みよい町づくりにたいへん役だっています。ことしのボーナスはぜひ郵便貯金にお預けくださるよう市内各郵便局ではお待ちしています。

ことし最後の
市民ハイキング
家族そろって参加を

ときと集合 12月15日(日)雨天なら中止 午後8時半阪急芦屋川駅前

コース 仁川駅―仁川渓谷―鷲林寺―観音寺―ガベノ城―越木岩神社―夙川―芦屋（12㌔家族向）

会費 大人100円、小人70円

携帯品 昼食、水筒、雨具、コップ、地図のある人は大阪西北部の地図（五万分の一）

注意 はき物は運動ぐつか登山ぐつをはくこと

なお、来年一月から三月まで、市民ハイキングは休みます。

（主催 市教委・芦屋登山会）

昭和39年1月15日に

成人式を迎える方へ

間もなく案内状が届きます

ことしから、成人式の対象者は学籍年齢を基準にします。したがって、昭和18年1月16日から19年3月31日までの間に生まれた方で、住民登録をしていながら12月15日をすぎても成人式の案内状が届かないときは、公民館へご連絡ください。

未登録の方は、登録をすませてから公民館へご連絡ください。

市立公民館（市民会館）

業平町74 電話②5236,4995

＋＋善＋意＋銀＋行＋＋

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋

からだの不自由な子供たちの福祉をはかろうと、身体障害児父母の会が十一月十一日に結成されました。父母の会のみなさんは、子供を学校へ安全に通学させるためにたいへんな苦労をしておられますが、善意銀行では、この気のどくな子供たちを通学させるスクールバスの預託をお待ちしています。

【預託【物品口座】市内保育所へドライミルク千三百五十㌘…茶屋之町、江口妙子さん▽生活困窮者へ衣類三点、カバン一点…松浜町一主婦さん▽同衣類三十二点…竹園町、一主婦さん▽同婦人ぐつ三足…伊勢町、一主婦さん▽同くつ下十九点、衣類八点…大原町、一主婦さん▽同衣類三十六点、くつ三足、かばん一点…東芦屋町、カゼンプールさん▽同衣類四点…松ノ内町、城チサトさん▽同男子用肌着八十点…東芦屋町、帝人松籟荘自治会さん▽ご老人へ衣類三十五点…呉川町、西岡美枝子さん▽市内保育所へ衣類六十点…茶屋之町、一主婦さん▽同帽子五十個…三条町、山中譲さん潔さん▽施設へ衣類五点、くつ二足…精道幼稚園さん▽同電気汽車一組…三条町安井弥太郎さん▽同衣類二十点、ノート、鉛筆、手袋、さいふ…山手中学校一年四女生徒さん【金銭口座】社会福祉のために二万円…西山町、小松繁さん▽老人いこいの家の備品費に一万円…浜芦屋町高安彰さん▽児童福祉のために一万円…浜町、来田守さん▽少年事業に千円…三条町、福渡龍さん▽▽生活困窮者に三千円…岩園町、細谷漢一郎さん陽子さん▽同千三百五十円…津知町、一主婦さん▽気のどくな方へ千百四十五円…精道小学校五年仲よしグループさん▽三池炭鉱の遺族の方へ六千五百六十六円…神戸市東灘区、上園光雄さん

払い出し【技術口座】奇術、剣舞、詩吟…敬老会のために▽ふすま張りかえ講習…芦屋市白菊会へ【物品口座】衣類三十四点、かさ四本…奥山、金蝋された二世帯へ▽ドライミルク、帽子五十個…大東保育所へ【金銭口座】一万円…老人いこいの家の備品購入費として（10月20日～11月20日取扱い分）

子供は、自分たちの世界、すなわち、家庭・学校（幼稚園）・地域社会で生活する間に、将来おとなとなって〝生きる〟ための栄養分を摂取し育っていきます。その中でも、一番長い時間自分を置くのが家庭であり、それだけに〝家庭教育〟の子供に及ぼす影響が深く大きいのは当然なことです。そんなに重要な〝家庭教育〟のあり方を、芦屋のおかあさん方がどんな風に考えておられるか、座談会を開催して聞いてみました。

この座談会は、その前日、二十人の市内の小・中学生に集まってもらって集録した「ぼくたちの、市と先生と両親への注文いろいろ」を参考にしながら話が進められたものです。

▽とき　十一月二十二日午後▽ところ　市役所会議室▽出席した人【おかあさん】紀文江・中尾説子＝精中、村越貴美子＝山中、宮崎すみ子＝精小、前田秀子＝宮小、三田仁子・西尾淵寿子＝山小、伊藤美代子＝岩小、山下美佐子＝精幼、藤井英子＝宮幼、久保斐子＝山幼、木村恭子＝岩幼【教委】三輪主事（司会）・藤井主事・沢主事・石本書記

おかあさんの発言は、いちいちお名前を書かず、発言順にA・B・C・D……で表わしました。

おかあさん「家庭教育」を語る

悩みはやっぱり進学勉強

約束は厳格に、時には息ぬきを

どのおかあさんも真剣そのもののやりとり

司会　はじめは話題をしぼらずに〝家庭教育〟の何からでも…

A　学級会の様子を見ていると、子供たちは実にじょうずに話し合いをしてますね。この様子は、家庭での家族の話し合いの参考にどこのおかあさんも見ておかれる必要があると思います。

藤井　子供も、とかく学校は学校、家庭は家庭と別にするきらいがありますからそれは必要です。

B　うちの子を見ていますと、上の中学の方がむしろのびのび勉強していて、小学生の方がテスト、宿題の連続で勉強に追われているようです。この頃、食欲まで少くなったので気になります。どうか先生方も、小学生に高校進学の話までしないでほしいです。

A　それは先生によって違うでしょう。うちの子の先生は、たまたま点が悪くてもガリ勉を要求しないで、短所だけを直すようじょうずに指導してくださいます。

C　PTAの集りなどで聞いていると「宿題を多く出すほど熱心な先生だ」とおかあさん方が評価なさっているようで……。

二人の間の子だもの

D　どうもおかあさん方、神経質過ぎるんですね。

司会　先生方もそれでジレンマになられるんです。

A　そんなおかあさんにわたしはよくいうんです。「あなたとご主人の間にできた子じゃないの。奇蹟を期待したって子供が災難よ。五合マスに一升は入らないんだから」きつすぎるかしら（笑）

藤井　広島県の新しい教育方法を成功させている小学校を見てきましたが、そこの校長さんも「子供がこうなければならんと思うな、子供は自分で育つのだから」と常に父兄にいってるそうです。

司会　猛勉強一点ばりは、どこのお母さん方も子供に毒と知りつつ、やめられないのが実態じゃないですか。

E　中学生ともなると、現在のせま苦門が待っている以上、仕方なく勉強を強いておられるようです。でも子供の実力、個性を見通すことが必要ですね。とはいっても悩みます。（笑）

司会　子供たちはこんなことをいってましたよ。「試験のあった日、帰るなり、どうだった？なんて聞かないでほしい。できたつもりでも結果がわからないのだから返事のしようがない」（一同苦笑）「隣の子は何時まで勉強してるなんかいわないで。わたしなりにがんばっているんだから」「試験の成績でいつまでもグドグドいわないで」「たまに宿題や予定の勉強が早くすんだときぐらい、あとまた勉強を押しつけないで自由に遊ばせてほしい」（一同うなずく）

D　うちの次男は趣味の多い子で、中学時分たいして勉強しなかったのですが、先生に「学校の部でよく世話をしてくれる子だから成績を責めないでほしい」といわれ、自由にさせといたらかえって勉強するようになったようです。

A　芦屋のおかあさんは暇があり過ぎるのでは？「うちの子は問題を読んでやると宿題がよくできる」なんて。（笑）学校のテストはそうはいきませんのにね。↘

↘**F**　いくらよくできても、やっと大学に入った途端入院したりしてはなんにもなりません。

B　三べんも落ちてるのに、まだ母校を受験させるといきまいているおとうさんを知っていますが子供さんが可哀そうで……。

G　無理して私立高校に入ったあと、成績がビリになった例も聞きました。進学指導は学校も家庭もよく考えたいものです。

D　秀才コースから一流会社へ入り、会社の仕事は一応やってる人ですが、いまだかって小説というものを読んだことがなかったんでありました。

H　芦屋の子はネバリがたりないそうですね。

沢　日本のように、乗物で子供がすわりたがる、子供にすわらせたがる国はないそうですね。足腰やバランスを鍛えるいい機会だというのに。

学校で教えられる手洗いの習慣も家庭でくずされる場合が多い。

司会　いなかの子は農事の手つだいなどでガンバリを身につけるそうですが、芦屋あたりではどうしたらいいでしょう。

E　グラウンド造りや運動部でのスポーツでずいぶんきたえられているようですが。

司会　それもいいですが、自分で何かを見つけて、根をおろしたものにしむけたいですね

おけいこごとが多い風潮ですが、それにはどんなご意見です？

I　自分がやりたいということは、させたらいいのじゃないでしょうか。発熱しているのに熱さましの注射まで射たせておけいこに行かせるおかあさんはひどすぎますが。

A　うちでは「〇年間続けられる自信があるなら行かせてあげる」といって、一時的な好奇心や競争意識をさましてます。

沢　幼稚園から三つもけいこごとをして、一年生で結核になった例も知っています。親のていさいや競争でやらせるのは絶対いけません。

おけいこは続ける自信を持つものを

司会　子供の声に「おかあさんはその日の気分で用事や勉強を押しつける」「妹が悪いことをしたとき、まきぞえにぼくも叱るのはやめて」「本を読んでる最中に用をいいつけないで。自由な時間を大切に扱ってほしい」というのもだそうです。結さをそれまでにすりへらしてしまって、一年目の結婚記念日が思い出せなかったり。人間性を失ってまで、せまいコースをたどらなければならないものでしょうか。

石本　親の強制がきびし過ぎて学校きらいになった子もいます。

B　この頃の子は読書の関心がうすいですね。

藤井　テレビの影響で、読書力のたりない傾向が調査にも現われています。

A　子供を前にしておかあさんの不用意な発言をなさることがありますね。「うちのは好き嫌いがあって」とか「子供は勉強ができないものですから」…一番つつしむべきことですね。子供をどんなに傷つけていることか。

G　それも兄弟を比較するのがもっとも悪い結果を生みます。

J　幼稚園に行く支度と遊んだあとの片づけだけは自分でするように約束したんですが、この頃守れなくて…。

A　約束だけはどうしても守らせるべきです。それを一回甘くすると、あとはもうズルズルだめになります。そこはきびしくしておいて、甘えさせるのは、ときどきだまって抱いてやるだけでいいと思います。母親の体温とにおいをじかに感じるだけで、子供は母親の愛情を受けとるようです。

藤井　家の中の約束ごとは、子供がなっとくするまで話し合った上できめるべきです。そうしてきまった上は絶対守らせるという親のきびしさが必要です。

A　テキパキしたタイプのおかあさんの子供は、どこへ出ても比較的行儀がいいですね。

I　同感です。おとなしい母親であるこの頃の子は読書の関心がうすいですね。

藤井　テレビの影響で、読書力のたりない傾向が調査にも現われています。

A　子供を前にしておかあさんの不用意な発言をなさることがありますね。「うちのは好き嫌いがあって」とか「子供は勉強ができないものですから」…一番つつしむべきことですね。子供をどんなに傷つけていることか。

G　それも兄弟を比較するのがもっとも悪い結果を生みます。

J　幼稚園に行く支度と遊んだあとの片づけだけは自分でするように約束したんですが、この頃守れなくて…。

A　約束だけはどうしても守らせるべきです。それを一回甘くすると、あとはもうズルズルだめになります。そこはきびしくしておいて、甘えさせるのは、ときどきだまって抱いてやるだけでいいと思います。母親の体温とにおいをじかに感じるだけで、子供は母親の愛情を受けとるようです。

藤井　家の中の約束ごとは、子供がなっとくするまで話し合った上できめるべきです。そうしてきまった上は絶対守らせるという親のきびしさが必要です。

A　テキパキしたタイプのおかあさんの子供は、どこへ出ても比較的行儀がいいですね。

I　同感です。おとなしい母親であるこの頃の子は読書の関心がうすいですね。

藤井　テレビの影響で、読書力のたりない傾向が調査にも現われています。

A　子供を前にしておかあさんの不用意な発言をなさることがありますね。「うちのは好き嫌いがあって」とか「子供は勉強ができないものですから」…一番つつしむべきことですね。子供をどんなに傷つけていることか。

G　それも兄弟を比較するのがもっとも悪い結果を生みます。

J　幼稚園に行く支度と遊んだあとの片づけだけは自分でするように約束したんですが、この頃守れなくて…。

A　約束だけはどうしても守らせるべきです。それを一回甘くすると、あとはもうズルズルだめになります。そこはきびしくしておいて、甘えさせるのは、ときどきだまって抱いてやるだけでいいと思います。母親の体温とにおいをじかに感じるだけで、子供は母親の愛情を受けとるようです。

藤井　家の中の約束ごとは、子供がなっとくするまで話し合った上できめるべきです。そうしてきまった上は絶対守らせるという親のきびしさが必要です。

A　テキパキしたタイプのおかあさんの子供は、どこへ出ても比較的行儀がいいですね。

I　同感です。おとなしい母親

こわい不用意なことば

につられてきた子がけじめのつかない無作法をします。

H　家でおとなしいのに、よその家へ行くと乱暴してくる子供もいますね。

A　家できびしくされ過ぎて息を抜く間がないのでしょう。浮気するご亭主の家もそんな場合が多いでしょう。（爆笑）

F　うちでは、犬の世話、鳥の世話をひとりずつ責任持たせてやらしてます。

E　テレビや漫画を見るのも程度問題で、少しはよいと思います。

司会　人間だれしも緊張しっぱなしではおられませんからね。

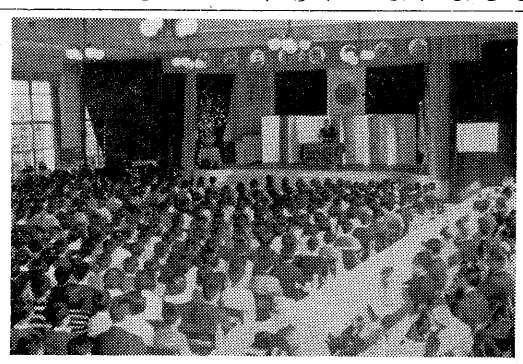
K　うちの幼稚園の子はテレビで時間を覚えました。

石本　親も子も、人前でもお互いにほめあう家庭を作ってほしいものです。「うちの子は」「わたしとこの子は」とほめあっている家庭は必ずうまくいっています。「家族で話し合わないのか」と聞くと「おとうさんは家に帰るとテレビにかじりついていて、話しかけると〝うるさい！〟話すチャンスなんかありません」と訴える子がいました。まず、子供の〝よき聞き手〟になってやりたいものです。

司会　ほめ方ひとつでもなかなかむずかしいものですが、時間がありませんので、きょうはこの辺で。

30周年おめでとう

山手・岩園両小学校



山手小学校と岩園小学校は、ともに昭和八年十二月二十三日に開校しました。ことしは創立三十周年を迎えましたので、山手は十一月十六日、岩園は二十二日、それぞれ職員、在校生のほかに多数の来賓、父兄の参列を得て記念式を挙行しました。

三十年といえば、歳月としてはそれほど長くはありませんが、非常時といわれる時期に創立され、間もなく戦争に突入、疎開、空襲、終戦、それに戦後の混乱と、苦難の連続が歴史の前半をおおっているわけで、その後の運営発展も決して生やさしい道程ではありませんでした。そうした貴重な三十年の歴史の上に、現在の在校生たちのしあわせがあるともいえます。

記念式では、列席された先輩やその先生方が見守る中で、在校生代表が、来賓のお祝いやはげましに答えて、喜びとあすへの誓いのことばを力強く述べました。また、それぞれ器楽合奏や唱歌など日頃の勉強ぶりを参列者に聞いてもらいました。

岩園小学校では、この日のためにお祝いの歌が児童の手で作詞、作曲され、全校生に歌われましたが、その一節をご紹介しますと

朝日に向かってつづく道
心正しいこどもたち
たのしくくらした思い出よ
まちにまったよ　きょうこの日

（写真は山手小学校の記念式典）

校園短信

精道幼
◇おかあさんの社会見学会　十一月二十日、約百人のおかあさんが参集、バス二台で松下電気高槻工場へ行き蛍光灯、ブラウン管などの製造を見学した。
◇父兄との個人懇談会　十二月十日から一週間、これまでの園児の生活をふりかえり、これからの保育と家庭での指導のためにおかあさんとじっくり相談する。
◇たのしいクリスマスの会　十二月二十日、全園児と先生で。

宮川幼
◇おとうさん教室　十二月八日、園児とおとうさんとの楽しい一日　十二月十七日
◇おもちつき　十二月十八日
◇おかあさんとの懇談会　十二月十八日
◇クリスマス会　十二月二十日

山手幼
◇創立三十九周年記念日　十二月二日
◇クリスマス会　十二月二十日

岩園幼
◇クリスマス会　十二月二十一日
◇展覧会　十二月四日―六日　講堂で図画工作の児童作品展。

宮川小
◇十一月二十九日、おかあさん方に神戸大三輪和敏教授の「子供の生活とテレビ」と題する講演を聞いてもらった。
◇父親参観日　十二月一日
◇講演会　十二月五日体育館で全父兄を対象に、関学大田中国夫教授から「生徒指導について」講演をしていただく。

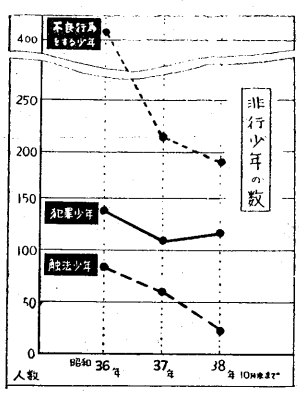
岩園小

山手中

肢体不自由児の就学相談　肢体不自由の小学校入学についてご相談になりたい方は、市教委体育保健課（電②二二一二内）沢指導主事へお申し出ください。

あとを絶たぬ非行

「少年補導所」発足して満2年



さまよう少年たちに血の通った補導の手をと、昭和二十六年十一月市立少年補導所が店開きしてから満二年たちました。

しかるよりも、孤独な魂のよき相談相手であろうとする所員の昼夜を分かたぬ二年間の努力が少しずつ実を結び、市内の少年非行はグラフのように全体では減少の傾向を見せています。

しかし、その中で犯罪行為をする悪質な少年の数は、だいたい横ばい状態にあるのはなげかわしいことです。犯罪の内容は、やはり窃盗が一番多いのですが、ことしに入って傷害・暴行など粗暴犯がふえています。これは中学校時代によくなかった人間関係が卒業後も尾を引き、仕返しという形であらわれているケースが多いようです。来年はどの曲線ももっと下向きになるよう、お力ぞえください。

不良化防ぐ道

忙しくても常に気をつけていれば　問題少年の多くは自分の学校に誇りを持っていない者が多いようで、制服の着用を避けたり、帽章がかくれるようにかぶったり、学校がわからないように小細工をしがちです。世の親たちは、少年たちがこういう行ないを一番早く察知できる立場にいるのですから、それに気づかないでいることは、親みずから子供を悪い方向へ追いやっているようなものです。忙しくても、常に観察し、よく話し合って親子が融和をはかり、同時に、子供の友だちにもあたたかく接してやってください。

悪書を追放しよう

書館ニュース

鈴木博士の遺著を受贈

芦屋市民でただ一人の文化勲賞受賞者であられた漢学の泰斗、鈴木虎雄（豹軒）先生はことしの一月二十日死去されましたが、このほど岩園町在住のご遺族から、遺著の「豹軒退休稾」「蔡房主人歌草」「鈴木惕軒先生年譜」の三冊を市に寄贈する旨、お申し出がありました。どれももう絶版の価値の高い刊行物ですので、市では市立図書館の蔵書として市民の閲覧に供することにしました。

図書館利用者の座談会　十一月十八日つね日ごろ図書館を利用している主婦、会社員、医師、学生らの方が集まり、読書の喜びや最近の図書の傾向について話し合いました。その中でこれら利用者の希望として「館外貸し出し冊数をふやしてほしい」「一般閲覧室をふやしてほしい」「自動車の巡回文庫を早く作れ」「児童室を広げてほしい」「集会室を設けてほしい」などの声も出されました。

新着書　〇鹿島時夫　石になったものの記録〇後藤紀一　少年の橋〇角田喜久雄　緋牡丹盗賊〇日吉良一　たべものの語源〇太田為三郎　日本随筆索引〇江崎俊平　恋月江戸ごよみ〇池波正太郎　人斬り平次郎〇十返肇　実感的文学論〇デビィ・ドレイク　美しいスタイルと健康美〇大竹勝　アメリカ文学史〇磯村英一　明日の都市問題〇鈴木武雄　円〇森永種夫　流人と非人〇添田知道　演歌の明治大正史〇サンベーヌ・ウスマン　セネガルの息子〇村尾次郎　桓武天皇〇吉田常吉　井伊直弼〇梅沢純夫　抗菌性物質〇井上義昌　英米故事伝説辞典〇荒井文治　機関車ガイドブック〇松下芳男　明治の軍隊〇丹羽文雄　薔薇合戦〇報知新聞社　ゴルフのすべて〇岡田鯱彦　樹海の殺人

その他多数新着、毎日9―17時無料公開（火曜日休館）小槌町市立図書館（電②五九七八）